

特集

紀州っ子の 体力向上に向けた取り組み

今年度、和歌山県では、夏の「全国高等学校総合体育大会（インターハイ）」や秋の「紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会」といった、スポーツに関するビッグイベントが各地で開催されました。皆さんも、スポーツに触れる機会が今まで以上に多い1年ではなかったでしょうか。

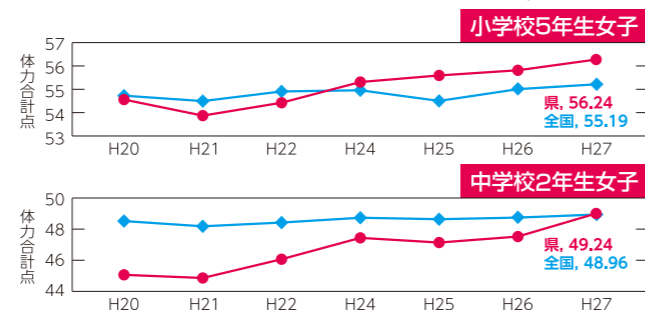
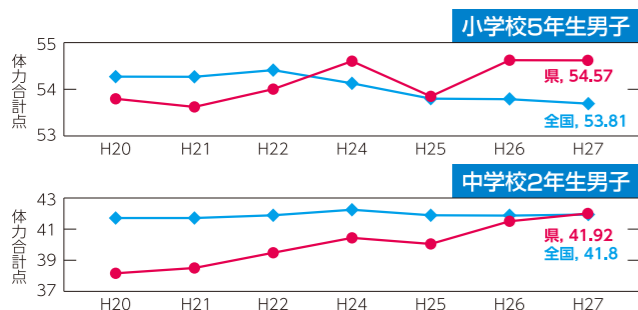
スポーツには、「する」「みる」「支える」といった様々な関わり方がありますが、皆さんも様々な関わり方でスポーツの素晴らしさを感じたことと思います。これからも、スポーツ（運動）と積極的に関わって、明るく、元気いっぱいな生活を送っていきましょう。

小学生は4年連続、中学生は初めて男女とも全国平均を上回る！

和歌山県の子供たちの体力は、全国調査が始まった平成20年度には、小学校5年生、中学校2年生の男女ともに全国平均を下回っており、特に中学生では全国平均との差が大きい状況でした。しかし、体力向上に向けた様々な取り組みを各学校で継続することで、体力が着実に向上し、小学生では4年連続全国平均を上回り、中学生では今年度初めて全国平均を上回りました。このことは、スポーツ庁の全国体力調査報告書や、ニュース等でも取り上げられるなど全国的にも注目を浴びました。

体力合計点※の推移(H20～)

※体力合計点…8種目(握力・上体おこし・長座体前屈・反復横とび・シャトルラン(持久走)・50m走・立ち幅とび・ソフトボール投げ。1種目10点満点)の合計点



※平成23年度は未実施

小学生は、ほとんどの実施種目で全国平均を上回る！ 中学生は、持久走・立ち幅とびに課題！

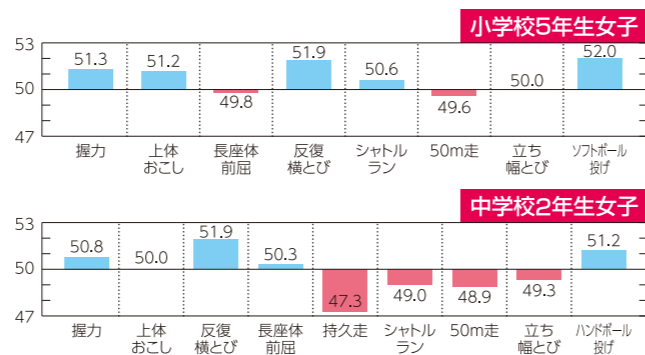
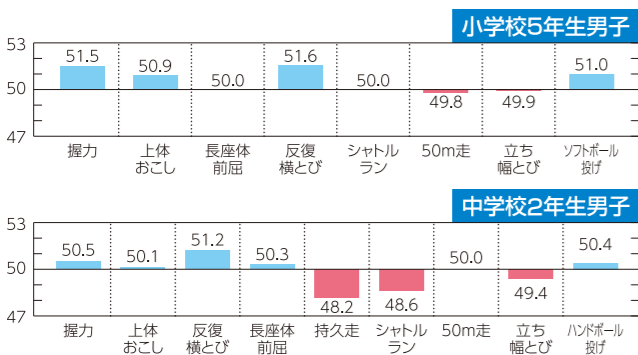
小学生では男女とも3種目(握力・反復横とび・ソフトボール投げ)、中学生では男女とも反復横とびで、それぞれ全国平均を1ポイント以上上回っています。

一方で、小学生では男女ともに50m走、中学生で持久走、シャトルラン、立ち幅とびが全国平均を下回っています。

走ったり、跳んだりする動きを日ごろのスポーツ(運動)に取り入れてみてください。

実施種目別Tスコア※との比較

※Tスコア…全国平均値に対する相対的な位置を得点化したもの(50=全国平均)



各種の取り組み

県教育委員会では、紀州っ子の体力向上をめざして、次のような取り組みを進めています。

チャレンジランキング

「きのくにチャレンジランキング」は、長なわとびや馬とび(団体部門)、短なわとび(個人部門)など全16種目の運動に取り組んだ結果をホームページに登録し、県内でのランキングを競い合うものです。

今年度は、小学校で143校、のべ90,687人の参加がありました。中学生部門も4種目ありますので、みんなで、仲間と一緒にチャレンジしましょう！



きのくにチャレンジランキングホームページ
(<http://www.kinokuni-challenge.com/index.php>)

紀州っ子かがやきエクササイズ&ダンス

平成25年度に制作した本県オリジナルのエクササイズとダンスです。

今年度は、小学生用エクササイズに取り組んだ学校が170校、中学・高校生用ダンスに取り組んだ学校が113校ありました。エクササイズやダンスに夢中に取り組むことで、楽しみながら体力の向上が図れると好評です。



また、「紀州っ子かがやきダンス」を学習したあとは、学んだステップやオリジナル曲を活用して「創作ダンス」へと発展が可能です。発展方法を紹介したDVDも全ての中学校・高等学校に配付していますので、積極的に活用してください。

「和歌山・海プロジェクト」ヨット体験会

今年度、本県で開催した全国高等学校総合体育大会ヨット競技が平成36年度まで、今後10年間にわたり和歌山セーリングセンターで開催されることから、ヨット体験会を実施しています。

今年度は、小・中学校7校が和歌山セーリングセンターの海上で、ヨット体験を行いました。また、ヨットを学校へ運び、学校のプールを活用してヨット体験をした学校もあります。

参加した児童生徒からは、「自然の風だけを利用して、ヨットを思う方向に進めるのがすごく楽しい!」「またヨットに乗りたい!」などの感想が出されました。

平成28年度も4月に学校単位で体験校を募集し、実施する予定です。



印南町立切目中学校で指導された野村 豊和 氏(左)、天翔 りいら 氏(右)

「ほんまもん体験」をはじめとした 体力・授業力アップモデル校の取り組み

今年度は6校1園をモデル校として、子供たちの体力向上に向けた様々な取り組みを進めています。

「ほんまもん体験」は、オリンピック等に出場経験があるトップアスリートをモデル校にお招きし、トップを極めたプレーを見せてもらったり、実際に指導してもらったりする取り組みです。

今年度は、野村豊和氏(柔道家、ミュンヘンオリンピック金メダリスト)、天翔りいら氏(元宝塚歌劇団)、田中光氏(元体操選手、アトランタオリンピック出場)、駒野友一氏(Jリーグ選手、元サッカー日本代表)が各モデル校を訪れました。

子供たちからは、「トップレベルのプレーや演技を近くで見ることができ、感激した!」「マット運動を教えてもらって、うまく回れるようになった!」などの声がかれました。

また、体育の授業に専門講師を招いて指導を仰いだり、授業研究会を開催するなど、教員の授業力アップを図る取り組みも進めています。

指導者研修会の実施

運動好きな紀州っ子の育成に向けた指導技術を磨くため、幼稚園や保育所、小学校の教員や中学校・高等学校の体育科の教員を対象とした、実技を通した様々な研修会を開いています。



幼児期・小学校低学年 運動遊び指導者研修会



中学校体育学習研修会(ダンス)



武道指導者養成講習会(柔道)